

2024.03.03. 彼らは、彼らのしていることから逃げられない

ユダの手紙 1 章 1 4 節 1 9 節

JD ファラグ牧師

アーメン、アーメン。一緒に祈りませんか？主よ、さらに重要なことは、この終わりの日に、私たちが堅固な基礎に立つことです。ですから主よ、あなたがその堅固な土台、不動で、主よ、この終わりの日に私たちが呼び求める揺るぎない土台となって下さいますか？ 今朝、あなたの御言葉を通して私たちに語りかけて下さいますか？ 主よ、一つのからだとして集うこの時を感謝します。私たちはあなたを礼拝し、あなたにすべての賛美と栄光を捧げます。イエスの御名において、アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださり、嬉しいです。オンラインでご覧の方も歓迎します。始める前に、いくつかお知らせです。まずは、3月5日、今週火曜日に祈り会をします。6時55分くらいから賛美を始め、それから、私は簡潔にメッセージします。簡潔にね。ー (笑) ー 「マタイの福音書」から、タイトル『祈ってはいけない方法』です。この祈り会を本当に楽しみにしています。イエスは祈り方を教えられる前に、まず祈ってはいけない方法を教えてください。その後、時間の許す限り、牧師たちに祈りのために上がってもらい、また時間の許す限り、教会全体で祈ります。それが火曜日です。で、木曜日、今週3月7日は、スティーブ・サントス牧師と奥さんのキムを迎え、「イエスは、ラハイナを愛しておられる」のパート2をします。6時50分か55分くらいに賛美を始めます。それから、午後7時に開始します。留意ください。開始時刻は7時半ではありません。通常木曜の夜は7時から賛美開始ですが、今週は、7時ぴったりに(本編を)始めます。そしてもちろん、主の御心なら、翌14日の木曜日、エゼキエル書の節ごとの学びを再開し、学び終える予定です。今週の木曜日は、スティーブ・サントス牧師が来てくださるので本当に楽しみです。ですから、是非参加されるのをお勧めします。それでは、「ユダの手紙」です。はい(笑) 14節、15節、16節、17節、18節、19節。(今日は)6節ですよ。よっしゃ。ギリギリでやっています。先週は1節でしたか？ いえ、3(2)節でしたね。その前が1節でした。節ごとの学びです。文字通り。ですから、とにかく、今日の箇所は14節から19節です。その理由はすぐのわかんと思います。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。14節から始め、ユダは聖霊に導かれ、こう続けます。

ー ユダ 1 : 14 ー

アダムから七代目のエノクも、彼らについてこう預言しました。「見よ、主は何万もの聖徒を引き連れて来られる。

ー ユダ 1 : 15 ー

すべての者にさばきを行い、不敬虔に生きる者たちのすべての不敬虔な行いと、不敬虔な罪人たちが主に逆らって語ったすべての暴言について、皆を罪に定めるためである。」

彼らが不敬虔であったという印象を受けますか？「不敬虔」が4回です。もう1回出てきます。16節、

ー ユダ 1 : 16 ー

彼らは、ぶつぶつ不満を並べる者たちで、自らの欲望のままに生きています。その口は大げさなことを語り、利益のために人にへつらいます。

ー ユダ 1 : 17 ー

愛する者たち。あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの使徒たちが前もって語ったことばを思い起こしなさい。

ー ユダ 1 : 18 ー

彼らはあなたがたにこう言いました。「終わりの時には、嘲る者たちが現れて、自分の不敬虔な欲望のまま

にふるまう。」

ー ユダ 1 : 19 ー

この人たちは、分裂を引き起こす、生まれつきのままの人間で、御霊を持っていません。

ご一緒に祈りましょう。お父様、ありがとうございます。あなたの御言葉を、今日私たちの前の御言葉にあるこの箇所を。主よ、ここにはたくさんの方がいます。私たちは直ちに認め、謙虚に告白します。私たちが聖書を通して学ぶ時、私たちの教師であり、導き手の聖霊により頼み、私たちの生活への適応によって全ての豊かさを掘り起こします。しかし、そのためには聖霊が必要です。ですから主よ、私たちの理解の目を開いてくださり、あなたが私たちに見せられたいことを私たちに示してくださいませか？あなたが私たちに聞かせたいと望んでおられることを、私たちに語ってください。さらに重要なことは、あなたが私たちに注意するように望んでおられるので、私たちはただ御言葉を聞く者ではなく、御言葉を行う者になれます。主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。ですから、今日、私がお話したいのは、この終わりの日に私たちに敵対する不敬虔な人々が、どうやって、なぜ『彼らのしていることから逃げられない』か。まるで逃げられるかのように、そう見えるかもしれません。彼らがしていること、堂々としていること。「詩篇73篇」の詩人、アサフを思います。つまり、信仰の危機について語ります。彼は本当に混乱しました。悪しき者が栄え、正しい人が苦しむのを見て。アサフにとって大変悪いのは、詩篇の中程で、彼が兄弟たちから離れたのを認めます。アサフ自身が抱える信仰の危機で兄弟をつまづかせたくなかったからです。アサフが納得できなかったのは、この邪悪で不敬虔な者たちのあり方であり、、、「不敬虔」が何を意味するかご存知ですか？ コカ・コーラとセブンアップの例えはもう私にさせないでください。アンコーラ/uncola：コーラがない。不敬虔な者/ungodly：神がない。大変簡単な方法での説明でした。あなたをつき合わせる必要はありませんでした。喜びなさい。(ルカ 6 : 23 参照)

ですから、アサフは兄弟をつまづかせないように、誰とも話したくありませんでした。この邪悪で不敬虔で悪しき人々が、いわば殺人から逃れているように見えるのが納得がいかなかったからです。彼らは自分たちのしていることから逃れていて、実際、彼らはそれから逃れていただけでなく、実際にそれで繁栄していました。ここでアサフが言うのは、「こんなの納得できない。つまり、私は人生の試練を経験しているのに、この悪しき者たち、この不敬虔な者たちは人生を楽しんでいる。どういうことだ？」彼はそんな風には言いませんでした。私ならそう言ったでしょう。今、言ったでしょ。どういうことだ？ それはどれほど不公平なのか？ どこが公正なんだ？ アサフはこうも言います。

「私は手を洗って、義のためにまっすぐに歩んできたのに、一体何のため？無駄なの？ 私は誠実さと正義、敬虔さをもって歩んでいる。それは何のためなの？」ここに不敬虔な者がいて、彼らが触れるものはすべて金に変わる。それで彼は本当に混乱しました。あらゆる兆候があります。これは「詩篇73篇」の教えではありません。神の御言葉に触れ、「詩篇73篇」を読むことをお勧めします。本当に落ち着きます。特に今日お話しするような文脈では。“彼が教会に戻るまで”ではありませんでした。彼は、教会からも遠ざかったようです。彼がキリストにある兄弟姉妹から離れていると言うのなら、間違いなく、彼は教会からも離れていました。理由は、彼らはどうしますか？ 兄弟姉妹が教会のロビーでアサフを見かけ、

「やあ、アサフ、元気かい？」「良くない。」「どうした？」「じゃあ、話そう。」そして突然、この種のものは伝染するので、会衆全体に広がります。で、突然、人々は大騒ぎします。そして突然、神が試されます。神が裁くのではなく、神が裁かれる。ここでアサフは、そのことをすっかり忘れて、不敬虔な者たちの繁栄にとらわれます。教会に戻って聖所に入り、そこで彼らの終わりを見るまでは。ネタバレ注意。(彼らの)結末は良くありません。そして今、アサフは彼らを羨ましく思う気持ちから、彼らに何が待ち受けているのかを知り同情する気持ちに変わります。彼らは裁かれます。彼らは裁きを受けます。まだです。彼らは自分たちが逃れたと思いついて、確かに、彼らは逃れているように見えますけど、しかし、その日が来ます。私たちがまさに見るように、聖霊の導きによってユダが私たちに思い起こさせます。実際、彼はそう言います。これは注意喚起です。すでにご存知ですね。「あなたはこのことを思い出す必要があります。」何を思い

出すんですか？ 特定の「時」、特定の「理由」、特定の「事」、特定の「方法」で、神が最終的な言葉を下されます。彼らは逃げられません。本題に入る前にお伝えしたいのは、今日、あなたが勇気づけられるのを願ひ、特に、あなたがそれを受ける側であるなら私が「悪意ある操り手」と呼ぶ者、「悪意ある操り手」彼らが誰なのか、どうやって分かるのか？ 彼らは、人々を分裂させるからです。彼らは人々を分裂させる者たち。彼らは不敬虔であり、あなたは彼らが本当は何者で、何をしているのかが分かります。これは大いに必要な注意喚起で、大いに必要な励ましを付け加えます。神が最終的な言葉を下されます。

それでは、まず 14 節から 15 節について話しましょう。いつ？

1：いつイエスが彼らを裁かれるのか。

さて、これに取り組む前に、触れてはいけない問題（直訳：部屋の中の象）に対処する必要があるのは、ユダが「エノク書」から引用するからです。その反応は予想外でした。私がおあなたに言うなら、「第一肉の人への手紙」を開いて下さい。それが「書」でないことはもうお分かりですね？ — (笑) — 私が「エノク書」を開いて下さいと言ったらどうしますか？ 「エノク書」はありません。なぜ「エノク書」はないのか？ 「エノク書」は、聖書正典に含まれていなかったからです。なぜ聖書正典に含まれなかったのか？ 靈感を受けた聖典とは見なされなかったからです。では、なぜユダは「エノク書」から引用しているのか？ それについて話します。これを解決しましょう。先にユダが「モーセの昇天」という偽典の書から引用した時のようだからです。ユダは聖書の引用ではなく、聖書外の資料を引用しています。今、ユダよ、ありがとう。「エノク書」の引用を。牧師が、特に今の時代、それに対処せねばならないのは、これ「なぜ『エノク書』について話さないのですか？」私の聖書には書かれていないからです。まあ、はい、「エノク書」には、本当に面白くて、靈感を受けたような記述がいくつかあり、取り組むのは、、、「ところで、あなたはたくさん話されますが、『エノク書』の引用は決してしませんね。それは読んではいけないという意味ですか？」いいえ、読んで下さい。大丈夫。何とでも。読んで下さい。が、それは靈感を受けた聖典ではありません。では、なぜユダはそこから引用したのか？ 理由は、ユダが語り、私たちの注意を向け強調するのは、

未来の預言：（キーワード➡）

) 「いつ/時」なのか。イエスは何万もの者と共に来られます。

それはヘブライ語イズム、その言葉ってありますか？ とりあえず、そうっておきます。ヘブライ語のことわざ、慣用句では、何万人もの聖徒が主の傍らにいる。誰かわかりますか？ (JD 挙手)

いつかわかりますか？ 再臨です。ですから、ユダが「エノク書」から引用し彼らを裁くために、この先未来のイエスが私たちを伴って、共に来られる再臨の時を指し示すのなら、それが裁きの日。イエスが来られる時です。なぜ私はこのことを指摘し、なぜこのことを強調するのか？ ここには明確な区切りがあるからです。「聖書預言・アップデート」でも話しました。今や、私たちはほとんどすべての「聖書預言・アップデート」でこの話をしていると思います。：7年の患難時代前「教会携挙」と、7年の患難時代後のキリストの「再臨」の区別です。携挙の時、イエスは私たちのために来てくださいます。再臨の時、イエスは私たち、ユダ、エノクと共に来られます。それが「その時」です。主のそばで主の花嫁として何万人もの主の聖徒が、7年の患難時代の後に主と共に来る時、彼らを裁く。私は伝える努力をしました。神は私の心を知っておられます。原語と他の多くのバージョンや翻訳を私は本当に調べました。私たちは、イエスと一緒に彼らを裁くのかどうかを知りたかったからです。あなたの方がもっと上手に調べるかもしれません。見つかりませんでした。そうあってほしかった。そう、私は本当に、、、「エノク書」には行きませんでした。行くべきだったかもしれません。私は見たいし、聞きたかったのです。ユダが言うように、イエスが何万人もの私たちと共に裁きに来られる時を。よっしゃ！ 私は裁く準備はできているからです。私たちは裁くでしょ。裁くのが得意です。そうでしょ。私は裁きたいです。いえ、いえ、いえ、主が裁き主です。私たちは主のそばにいただけです。それは私が望む方法ではありませんでした。しかし、主は彼らを裁かれます。で、14節と15節からの教訓は何か？ その時は、いつやって来るのか？ イエスが来られる時です。私たちが共にいて主が彼らを裁く時です。敵にこれで恥をかかされてはいけません。言い方が、、私は失敗してますね。やめた方がいい。なぜか？ 失敗しましたから。いいえ、失敗してない。はあ！ そう？

「なぜ/理由」に行きましょう。「いつ/時」はわかりました。

2.なぜイエスは彼らを裁かれるのか？

ここからが本当に面白いところで、これが理由です。ユダは、彼らが裁かれる理由を明確にします。このリストを見て下さい。ぶつぶつ不平不満を並べ、へつらい、操り、今からすぐ見ていく通り、分裂を引き起こす。お付き合い下さい。今日の説教に備えて、このことを考えていました。「民数記16章」で、コラの話をしましたけど、「民数記12章」で、モーセの姉と兄、ミリアムとアロンに起こったこと。大変興味深いのは、アロンではなく、ミリアムがまず言及されているからです。彼女はつぶやき、不平不満を言い始めます。弟に対する誹謗中傷やゴシップキャンペーンを始めました。彼女は何について噂し、不平不満を言い、つぶやいたのか？ モーセの妻です。う”～！ おお、まさか、してないですね。おお、はい、ミリアムはしました。モーセはエチオピア人の妻をめぐったからです。で、ここでミリアム登場。姉です。思い出して下さい。公平を期すために、ナイル川からモーセを助けたのは彼女でした。すべては神の定め、ご計画です。モーセはファラオの家、ファラオの国に行き着き、神の民の解放者へと育てられました。しかし、不満を持ったのはモーセの一番上の姉、実際には唯一の姉であるミリアムでした。兄のアロンは、、モーセは一家の最年少でした。真ん中の子供についてはご存知ですね。全ては、最年長と最年少。最年少の子供についてわかりますね？ なぜそこに行ったのかはわかりませんが、なんとなく、私たちが愛称して「家族の赤ちゃん」と呼ぶのわかりますね。最後の/最年少の、、、彼らはそうです。気をつけねばなりません。彼らは、、、何というか、おお、私たちはもう十分経験したから。OK。これで最後だ。あなたの後はない。私たちはあなたを愛している。私たちにね。とにかく、そういうことです。家族の赤ちゃんです。ダビデを考えて下さい。エッサイの息子の中で最年少。ですから、ここでモーセ、彼は家族の最年少の赤ちゃんですけど、神は彼を選ばれました。ここで彼の一番上の姉が来て、彼がエチオピア人の妻をめぐったことについて、不平不満キャンペーンを始めました。彼女はそれだけにとどまりません。不平不満やつぶやき、愚痴は教科書通りに、彼女はそれをさらに拡大し、広めるからです。彼女はこう話し始めます。

「ご存知、神は私たちも用いられます。モー、弟よ、あなただけじゃない。神は私たち全員を用いられるのよ。自分を誰だと思ってるの？」モーセは、この地上で生きた人の中で最も柔和な人です。それが彼が記したのではないのは当然、すべてが台無しになりますから。私たちはそのことについて話しましたね。「私は

一番謙虚な男です。知っています。」そんな、できません。理由は、あなたは大変、、、とにかく、あなたは謙虚さを誇ることになる。ここでモーセは、「OK。じゃあ、、、」従兄弟のコラにしたのと同じことをしました。「これは主に決めていただきます。」それで3人とも主の御前に出ました。主は何をなさるのか？神はミリアムをツァラアトで打たれました。(民数記 12章)神はアロンに何をされましたか？いいえ。ミリアムが先です。彼女の弟であるモーセに対して不平を言い始めた。モーセは神が召されました。ですから神に敵対しています。神がモーセを召されたからです。原文に伴う意味は、不平や不満、つぶやきを言うだけでなく、あなたが本当にしていることは、神を非難していること。それについて考えてみて下さい。「出エジプト記」で、イスラエルの民はモーセと神に対して不平を言い、つぶやきました。実際、聖書には面白い会話が記されていて、大変感謝します。神とモーセがやりとりするところで、「彼らは私の民ではなく、あなたの民です。」親の会話のようで、「あれは私の息子じゃない。それはあなたの家族側から引き継いだ。そう、私側じゃない。あなたの息子よ。」「おお、今は私の息子？」が、彼が何か良いことをしたら、「彼は私の息子で、私側の家族から引き継いだ。」はい。ここで神とモーセはやりとりをします。つまり、神とモーセは、、、イスラエルの民にはうんざりでした。彼らは神に対して不平を言っているからです。それが彼らのしていたこと。これが彼らが裁かれる理由です。彼らが「いつ/時」裁かれるかがわかり、これが、彼らが裁かれる「理由」で彼らが裁かれる理由：神に対して不満を抱き、幻滅させることで、真のクリスチャンを神から引き離すから。つまり、こんな風に見えます。ミリアムがしたことは、ミリアムはここで小さなキャンペーンを始めます。それはアダムとエバがしたようなことです。彼らは非難し始めます。彼らは責任を転嫁します。神はエバのもとに来られます。：「何をしていますのですか？」非常にゆるい言い換えです。「神よ、あなたのせいです。もしあなたが蛇を園に置かなければ、私は騙されませんでした。どうですか？」

神はアダムのところに行かれます。もっと悪くなります。で、「アダム、何をしていますのですか？ 何をしたのですか？」神はアダムのしたことをご存知です。しかし、アダムの答えは、：「神よ、あなたのせいです。あなたが私に与えられた女のせいです。あなたがあの女を私に与えられなかったら、こんなことにはならなかったのに。ですから、なぜあなたとエバで解決しないのですか？ 私はここにいます。あなたが解決されたら教えて下さい。」

それが、これが考えに含まれます。

不平不満は、：神は不公平、不公正、不義であると。お伝えします。それは山火事のように広がります。私が事業をしていた頃、私たちには言い方があって、若造と呼んでいて、親しみを込めた言い方でした。彼らは若造で、新人です。彼らが入って来て、次に何が起こるかは、壁に書かれた手書きの文字で、彼らが「破滅の口」に直面すること。つまり、この人物は苦々しく、幻滅し、不満を抱きます。あの給与水準は公平じゃない。ここに、その新人。彼はおしまいです。あなたは彼を完全にダメにしました。彼は勤め始めたばかりです。あなたは雇用主について不平を言っている。彼は仕事が必要だったから就職したばかりです。あなたはこの幻滅やら不平不満をまき散らします。非常に危険です。大変不和を生じさせます。これはまさにユダがここで言っていること。これが、私が言及する「事」の背後の「理由」です。私たちは時に「理由」を知る必要があるからです。「事」をより理解するために。このような感じで、

「OK。それは神がなさったことだけど、神がされたことの理由を理解できた時、すると、私は落ち着きます。」神が彼らを裁かれる「その事」と「時/いつ」に、私が注目するのであれば、私がわからないのは、神が彼らを裁かれる「理由/なぜ」です。いいえ、これは公正です。彼らが行った損害、取り返しのつかない損害。それを乗り越える人は多くないからです。それは教会で1日に何千回も起こっています。誰かがつぶやきキャンペーンを始めるだけで。彼らはそれだけに留まりません。彼らは実に明瞭という印象です。あなたがいつもわかるのは、彼らがあなたにお世辞を言い始める時。

「おお、あなたは本当に地に足がついているように見えます。神の御言葉を信じる人ですね。」

「おお、ありがとうございます。私について他に気づいたことは？」で、彼らはこんなふうに、、、言い習わしで、「ごまをする」です。これも失敗しました？ 彼らはあなたにごまをすっています。彼らはあなたを罠にはめようとしています。で、今や、彼らはあなたを捕えました。つまり、ひっかけ、吊るして、沈める。これもマズかったですかね？ 彼らはあなたを捕まえ、引き込みます。どうやって？お世辞を言って、エゴ丸ごと撫でてね。「あなたは本当にしっかりした、成熟したクリスチャンのようですね。」「そうです

か、ありがとうございます。」今、あなたはまさに収穫時です。あなたは彼らの言いなりです。今日私は本当に絶好調ですね？ 賜物です。そして彼らがあなたを捕えたら、操り、分裂させ始めます。分裂と征服。なぜこの話をするのか？ これが「理由」だからです。これがその「理由」です。これは当然の結果です。これがもっともです。それが比例するのは、判決は犯罪に比例します。私たちがそれについてどう話すかご存知ですか？ 「え〜、罰は不釣り合いに見えます。」いいえ、不釣り合いではありません。なぜ？ 理由は、このリストを見ましたか？ これは良くありません。彼らは自業自得でした。待って。彼らはこれで逃れようと思ったのか？ 分裂だけでも、、、これについては、「聖書預言・アップデート」でも話しました。ちなみに、これがサタンの最終目的です。イエスは仰いました。

「もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。」(マルコ 3 : 25)

言い換えると、崩れ落ちます。時間の問題だけです。分裂させることができないなら、そう、サタンはそれを知っています。サタンはどうやって教会を陥れようとするのか？ 結婚を破綻させ、家族をバラバラにする。分裂と征服。サタンは私たちが聖書を知る以上に聖書を知っているからです。

ところで、次に進む前にもうひとつ。これは、、、どう言えばいいのでしょうか？ 私がメモから外れる時わかります。いつもですけどね。しかし、このような言葉で表現します。なぜ神はこのことをそれほど深刻に受け止められるのか？ 神はこの結末を受ける側の最初であられたからです。天で、ルシファーと共におられ、ルシファーは高ぶりに満ち、自分のことで自惚れ、自分を高くあげました。私はいと高き方の上に私の王座を上げる。(イザヤ 14 : 13-14 参照)

そこには5つの "I/私" があると思います。ルシファーは大きな "I/私" の問題を抱えています。アイヤイヤイヤイヤ。私はいと高き者になる。(イザヤ 14 : 14 参照)

私はいと高き方の上に私の王座を上げる。(イザヤ 14 : 13-14 参照)

おお、本当？ あら、いいえ、できませんよ。しかし、天国には分裂がありました。今となつては、ありがたいことに、私は親の離婚という杯を味わったことはありません。私の妻は13歳でそれを経験し、最悪の年齢だと言われています。その時期は形成期だからです。感謝なことに、私はその杯から味わったことはありませんけど、しかし、残念なことに、私は教会分裂、教会離婚の杯を味わったことがあります。覇権争いがあるからです。天国で覇権争いがありました。サタンがそれをした時、どうやら、サタンは天から3分の1を連れ出したようです。それが神の御心を傷つけなかったと一瞬でも思っただけではありません。それが神がこのことを深刻に受け止めておられる理由です。サタンがそのキャンペーンを始めました。その前に何があったか想像できますか？ 聖書にその記録はありません。それは情報過多かもしれません。その前に起こったことについての裏事情を知らないことに感謝すべきかもしれません。が、ルシファーは早くからこのようなことを始めていたと私は想像します。御使いたちといと高き神との間にくさびを作り始めました。それで彼らは神の善を疑い始めました。アダムとエバがいた園でのサタンの作戦はすべてそうではありませんか？

「神は本当に言われたのですか？ (創世記 3 : 1 参照) 神の善意を疑います。いえ、神はあなたに隠し事をしてしています。」この雇用主には不当な給与体系がある。彼らはあなたに隠し事をしてしている。それを始めると、ヤコブが言うように、、、彼は手加減しませんよ。その舌は、放っておくと壊滅的な打撃を与える空襲火災のようです。ですから再び、これが理由です。これがその理由です。「理由」が「事」を正当化します。

「理由」は「事」に比例します。イエスが彼らについてどのように語られるかについて話しましょう。これは17節から18節にあります。ペテロを知っていたユダは、この2節で、使徒ペテロが終わりの日の人々について預言した言葉を繰り返します。ところで、これが言うたぶん良い機会なのは、ユダの言う「この人たち」とは誰か？ 気づかれずに、こっそりと忍び込んだ者たちです。彼らはレーダーをかいくぐって教会にこっそり入り込みました。教会を分裂させ征服し、破壊し、弟子たちを自分に引き込むために。ユダが言っているのはその人々のこと。さて、ユダはこの2節で、さらに次の段階に進もうとし、ペテロと同じように、まさに終わりの日のこれらの人々について預言しました。こういうことです。教会携挙が近づくにつれ、その数は増えていきます。この種の人々が、、、では、イエスは彼らについてどう仰っておられるのか？ おお、彼らはあざける者たちです。彼らは嘲笑する者たちで、不敬虔です。その理由は、、、主はなぜそうなのかまで教えられます。彼らはそのすべてが不敬虔である欲、欲望を満たすための許可証を欲して

いて、そのすべては、終わりの日に比例して増大するからです。それが主が語られるこの種の人々についてです。これで、彼らがいつ裁かれるかがわかり、なぜ彼らは裁かれるのかが分かり、今、私たちはおまけをいただきました。これが主が彼らをどのように見ておられるか。彼らについてこう仰いました。先走ってまずけど。

最後に19節、イエスは彼らについてこう仰います。

4.イエスは彼らをどう見ておられるのか？

残りの時間をこれに費やしたいです。ユダがここで書くことは、いくつかの理由から非常に興味深いからです。その第一は、主が人をご覧になるレンズを私たちが垣間見ることができるから。神は心を見られるからです。(Iサムエル 16：7参照)

人はうわべしか見ない。(Iサムエル 16：7参照)

神は彼らをどう見ておられるのか？ 神は私をどう見ておられるのか？ 私はあなたを見ているし、あなたも私を見ている。なんと意味深で、痛烈な、、、とにかく、しかし、あなたが見ているのは私の外見です。あまり見苦し過ぎないことを願います。ところで、あなたの外見を拝見して、あなたは(投げキス♥)大変素敵です。皆さん、非常に素敵です。OK。それはさておき？ が、問題はここからです。神があなたを見ているようには私は見ません。神はあなたの心を見ておられます。(Iサムエル 16：7参照)

おお、神が見ておられる？ はい。神は中身を見ておられます。私たちは外しか見ていません。ポイントは何ですか？ イエスが彼らをそのように見ておられるなら、私たちも彼らをそのように見るべきなのが当然ではないですか？ もし私たちが彼らをそのように見なければ、私たちはおしまいだからです。私たちはそれに騙されることとなります。私たちは、彼らの意図で忍び込んだ者たちに騙されることとなります。再び、リトマステスト/判断基準です。あなたは彼らがわかります。先週話したように、「実」によって。彼らの「実」は何ですか？「実」は、、、これもまた意味深の真理です。「実」は根にあるものから生じます。根にあるものは何か？ おお、水面下に隠された意図があります。その意図とは何か？ 私たちに語られているのは、イエスがそれを見ておられること。それは彼らの心に隠されていて、外からは見えず、海面の下にある岩礁のように、非常に危険で、隠された岩礁は、危険ですけど、目に見えません。しかし、そこにある。水面下の意図です。それがわかるのは「実」からです。：彼らは分裂させます。彼らは分裂させます。試してみます、、、主よ、私を助けてください。これは非常に重要なことだからです。ユダが彼らは「御霊を持っていません。」(19節)と言う時、これにはいくつかの考え方があります。これはクリスチャンではないことを意味すると考える人もいます。私は同意します。理由は、私たちがイエス・キリストの救いの知識に辿り着く時、私たちは救われた時に、聖霊が私たちに与えられ、住まわれ、封印され、イエス・キリストに人生を委ねるからです。今、私たちの中には聖霊がおられます。ですから、ユダが彼らは御霊を持っていませんと言うのは理にかなっていません。彼らはクリスチャンではないのかもしれませんが。あるいは、また可能な意味として、彼らには教えられ、満たされ、導かれる聖霊がおられないということ。ですから、それが真実もあり得ます。その「実」によって彼らを見分け、知ることができるようになるには、霊的な識別力が必要です。その中には実際にクリスチャンもいるからです。つまり、それは大変難しくなります。パウロがテモテに宛てた手紙の中で、自分が牧会した教会の人々が正気に戻るために祈るようテモテを諭し、励ましたことを思います。サタンが彼らを手に入れ、自分の言いなりにするために利用していたからです。彼らはクリスチャンでした。彼らは悪魔に取り憑かれたクリスチャンではありません。クリスチャンで悪魔に取り憑かれる人はいません。しかし、悪魔に抑圧されることもあり、あるいはコントロールされることもあり得ます。聖霊が私たちをコントロールされるなら、悪霊も私たちをコントロールすることもできますけど、憑依することはできません。聖霊がおられるなら、クリスチャンが悪魔に取り憑かれることはありません。皆さんと分かち合いたいのは、私が願うのはこれが、、、主よ、いいですか？(上を見上げる)私が願うのは、あなたが、、、私の心の声を聞いて下さい。私はこの説教壇に立つ前に祈ります。それは毎週、私の特権です。私は具体的に祈ります。：神が私に憑依されますように。私は神に憑依されたいのです。(苦笑)

そこで間を取るべきじゃありません。私は聖霊に憑依されたいのです。理解できますか？ あなたが憑依されるのは可能だと。この「憑依」という言葉は何か？ あなたは「～の所有」である。あなたは今、聖霊に

コントロールされています。ノンクリスチャンが悪霊にコントロールされ、憑依されるのと同じように。ですから私は、主が私に憑依して下さるようお願いいたします。ですから、あなたの牧師は御霊に憑依されています。— (笑) — 聖霊によって。それを限定しておきます。それは本当に理にかなっていないと思いませんか？ それを自分の話として続けてもいいですか？ 聖霊は私たちに憑依されますけど、悪霊が人に取り憑くこともあり得ます。悪霊は、サタンの思い通りにクリスチャンを操ることができます。知らず知らずのうちに。彼らは確かに協力的ではありません。それがパウロがテモテに、彼らが正気に戻るように祈るようになった理由です。何が起きているのか、正気に戻る必要があります。あなたは利用され、コントロールされています。あなたは、敵が教会に損害を与えるクリスチャンとして、敵の手先となります。サタンは、外からできないことを知っています。よみの門も外から教会に打ち勝つことはできないからです。(マタイ 16:18 参照)

ですから、内部の犯行です。内部の犯行にする必要があります。ですから、私たちには見えませんが、

主は見ておられます。主は、主が見ておられることを私たちにお知らせになりたいのです。誰かに新たな目を向けさせるのは、いつでもいいことじゃないですか？ これをどう見ますか？ 私たちは皆、他人の意見をすぐに聞きたがります。「あの、これをどう見ますか？ これについてどう捉えますか？」聞いてください。個人的なことではありません。あなたがこれをどう見ようと、私は構いません。あなたがどう思おうと、私は構いません。私が望んで、大変気にかけているのは、イエスはこれについてどう考えておられるのか？ イエスはこのことをどう見ておられるのか？ 私たちは、神の御言葉以外に目を向ける必要はありません。神が私たちと天でチェスゲームをしようとしておられるとは決して想像しないでください。ところで、私はチェスが好きではありません。私が言いたいのは、あなたがチェスが好きでも、まだ救われていません。神の祝福がありますように。— (笑) —

チェスは好きじゃありません。自分がすごくバカだと感じる。よろしいですか？ それ以上踏み込まない方がいい。たぶん、このままにしておくべきです。が、皆さんの中には大変才能があり、脳がそのように設計されている人もいて、すでに 25 手も先を打っています。彼らは、、、これはあることです。ごめんなさい。私はさらに踏み込んでしまいました。これは今日ここにいる誰かのための言葉かもしれません。つまり、彼らにはそれぞれの動きに数字と文字があるんです。彼らはそれについて本を書きます！ 彼らが研究しているチェスゲームに関するオンラインサイトがあります。私は考えてしまいます。(困惑した表情) なぜ？ わお！ でもね、主を褒め称えます。つまり、もし神が、、、チェスが得意なあなたの才能に対する聖化された嫉妬です。チェッカーでさえ今でも苦手です。とにかく、もう十分ですね。すでに進行中の説教に戻ります。私は、主がそれについて何と言われるのかを知りたいです。ですから、私は主のところに行きます。

「主よ、私には見えません。しかし、あなたは見ておられます。ここで何が起きているのですか？ 私はすでに、先週話したように、私はすでに、「確認」と「間」をとっています。あなたがそこに置かれましたよ。それはあなたが言われていることで、『何か为正しくない。止まるか速度を落とし、慎重に進みなさい。』それは黄信号です。そのことも話したくないのは、先週、話したからで、黄色信号のことはもう十分です。スピードを落とし、慎重に進み、止まる準備をしなさい。私たちはそうしません。信号を逃さないようにスピードを上げます。しかし、神はそこに「間」を置かれます。神はあなたの心に「確認」を置かれます。神が私たちの歩みと立ち止まることを示されるからです。主はあなたを止められ、何かを見せようとしておられます。あなたが見ていないものを、主は見ておられ、あなたを守られます。

「あなたはそれを見ていません。わたしは見ています。止まりなさい。わたしはわたしが見ていることをあなたに示したいのです。ここで何が本当に起きているのかを。この人たちについてをわたしがあなたに告げます。まず第一に、彼らは逃れられません。あなたにそこにいてもらいます。最前列に座れます。剣を、わたしの目に宿る炎を、主の口からの剣を、あなたに見せるかもしれません。」

「ヨハネの黙示録」の描写の 1 つです。ちなみに、次の学びに控えています。私たちは「ヨハネの黙示録」と同時に「ダニエル書」(木曜礼拝) を学ぶかもしれません。その直前に私たちを携挙されれば、主らしくありませんか？ おお、私たちは、、、誰も不平は言わないと思います。不平について話していますけど、

「主よ！」ともかく、脱線してますね。「牧師さん、ポイントは何ですか？」ポイントは、神は私たちを止め

られ、私たちに強大な脅威をもたらす何かを示されます。それは隠されています。彼らは、この人たちは、、、そう、わたしは彼らの心が見えるからです。わたしは彼らの心の中を知っています。彼らは危険な人たちで、あなたたちを分裂させるためにそこにいます。あなたたちを滅ぼすためにそこにいます。敵は盗み、殺し、滅ぼすためにだけやって来るからです。(ヨハネ 10:10)

わたしには見えません。あなたには見えません。わたしはあなたにそれを見てほしいのです。危険なサインで、警告のサインです。警告灯のようなものです。警告、警告、警告！これが彼らの正体です。これが彼らのあり方です。わたしはあなたにそれを見てほしいのです。なぜ彼らがそうなのかも理解する必要があります。彼らは強く欲し、欲望にまみれたことから逃れる方法を探しています。ところで、それを性的領域だけに限定しないでください。あなたは心の中で権力の座を強く欲することもできます。それについては、「聖書預言・アップデート」で話しました。ですから、あなたは可能ですけど、そのためには手段を持たねばなりません。で、どうやってそれをするのか？ 使いこなす、操作する必要があります。クリスチャンは騙されやすく、私たちはカモです。収穫しやすい果実です。ですから、彼らは自分たちの目的を達成するために私たちを利用します。私たちがそれを見ていません。主は私たちにそれを見るように望んでおられます。つまり、これが「どのように/方法」、「何/事」、「なぜ/理由」、「いつ/時」です。私はこう締めくくります。

あなたは今日ここにおられるかもしれないし、オンラインで見ておられるかもしれません。これはあなたにとって、非常に現実です。あなたはこれを受ける側にいたことがあるからです。「詩篇73篇」に共感できるのは、「詩篇73篇」を生きているからです。あなたは「ユダの手紙」14節から19節を生きています。

「どうしても理解できません。神よ、なぜあなたは彼らがしていることを見逃しておられるのですか？ 彼らはそれから逃れています。」主があなたに知ってほしいと願っておられるのは、彼らは逃れているように見えるかもしれませんが、できません。心を強くしてください。主を待ち望んで/主に仕えてください。主を待ち望んでください。これはただ主を待つ時ではありません。ちなみに、これには二重の意味があります。主に仕えること。ウェ이터のように。公正でないのは分かっています。今は「サーバー」と呼ばれます。飲食関係の方々には申し訳ございません。しかし、「主を待ち望む/主に仕える」とは、主への奉仕において主の食卓に仕えるということ。ただ待つだけではありません。こんな感じで「おお、待たなきや。」その「待つ」は、サーバーとして主に仕えること。あなたはを待ち望みます/主に仕えます。あなたのセクションには主がおられます。良くなりましたか？ あなたのボディランゲージを見ているだけで、、もう見ないかもしれません。しかし、ただ主に仕えるだけでなく、主を待ち望むのはどうですか？

— イザヤ 30:18 —

それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち、...

言い換えれば、「待っていないさい。・・・私たちが言うように、・・・今にわかります。」待っていないさい。今にわかります。子供の頃、それを聞くのが嫌じゃありませんでしたか？ 待っていないさい。今にわかります。いいえ、サプライズ/驚きです。何がサプライズ/驚きなんですか？ 待っていないさい。今にわかります。ちなみに、それはサプライズ/驚きです。それがサプライズ/驚きというものです。もし私が言ってしまったら、サプライズ/驚きじゃない。待っていないさい。今にわかります。あなたを励ますために神がこう仰っています。「待っていないさい。今にわかります。」あなたがそうする時、あなたはこんな感じになります。

「、、、おお～～～!、、、」モーセの時代に戻って、ミリアムとアロンです。アロンは祈り、神に懇願します。「神よ、お願いします！」神はこのように仰いました。「ダメです。あなたの方の中に預言者がいるなら、、、」ミリアムは預言者でした。それが彼女が、完成数である「7」日間、ツァラアトの裁きを受けた理由です。しかし、モーセが執り成して祈った時は、、、そう、私は絶対そんなことはしません。姉が私のところに来て、こう言う。「自分を誰だと思っているか？」だと。そして、神は姉をツァラアトで打たれる？

私はこうです。「イカしてる！」— (笑) — 頼みますよ。皆さんも同じことをするはずですよ。ここで私が言いたいのは、これで終わります。モーセは神の裁きを見た時、

「神よ、お願いします。もう十分です。もう十分です。」(民数記 12章)

OK. わかりました。彼らは逃れられません。今、彼らを見てください。そして、彼らを気の毒に思い、彼ら

のために執り成しを始める。つまり、以前は、あなたは彼らに脅かされ、傷つけられ、彼らは逃げて、あなたは彼らに腹を立てていました。そして、「もしも」ではなく、「その時」神は裁かれます。神は必ず裁かれます。あなたはこんなふうに、「おお、わお、神よ。わかりました。」そのように彼らを見たときに、彼らへの見方が変わりませんか？ 思い浮かぶ誰かがいるかもしれません。再び、今、誰とも目を合わせません。私がこう言うとき、誰かが思い浮かぶかもしれません。あなたの人生にはその誰か複数いるかもしれません。もしそうなら、私たちはあなたのために祈ります。あなたの人生に誰かいて、彼らは殺人から逃がれています。彼らがあなたに対して、あなたにしていることで、あなたのことを SNS に投稿する。神が彼らを見られるように、あなたが彼らを見る時、それはすべてを変えます。彼らがあなたにしたこと、逃れているように見えることを見る代わりに、イエスがあなたにしてくださったことを見る。彼らがあなたにしたことよりも。ですから、彼らがあなたにしたことで逃れているように見えることから焦点を外すのです。あなたの目を主に焦点を合わせ直して見るのです。主があなたにされたことを。彼らがあなたにしたことではなく。彼らは彼らのものを受け取ります。しかし、神は恵み深い神であります。嬉しくないですか？ キリストに辿り着く前はあなたは彼らではなかったですか？ OK。手を挙げてください。いえ、手を挙げないでください。私たちは皆、そのことで打ち付けられていますね。その点で、私たちは皆、ボロボロです。有罪です。よし。おしまいです。それが、私がここから抜け出す最善の方法でした。カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。私に関わらず、今日、神が何らかの形であなたの心を勇気づけてくだされば幸いです。この点で落胆しているなら、なおさらです。

天のお父様、ありがとうございます。主よ、私たちはこれらの人々のために祈ります。もし彼らがあなたを知らなくても、まだ間に合いますから。彼らはまだ、あなたについて救いの知識を得ることができます。主よ、もし彼らがあなたを知っているなら、彼らが正気を取り戻し、自分のしていることに気づくよう祈ります。たとえそれが、これから起こることについての警告であったとしても、主よ、そうなりますように。これを受ける側の人たちのために、私はただ、超自然的強さと平安、超自然的な平安を祈るだけです。パウロが言うように、平安の神からの神の平安、すなわち、あらゆる人知を超え、超越した超自然的な平安です。主よ、私たちの心と思いをあなたにおいて保ち、私たちの目をあなたに向け、私たちの思いをあなたに留めるために。彼ら自身、彼らが何をしているか、何が起きているかではなく。主よ、あなたの恵みに感謝します。私たちがこのようなことの加害者であったとき、あなたはどれほど慈悲深く赦され、私たちを乗り越えさせて下さいました。あなたを知った私たちのうちのこの人たちは、正気に戻りました。主よ、感謝します。その時、あなたを知らなかった私たちのうちのこの人たちは、あなたに辿り着きました。主よ、そのことを感謝します。今、これをしているこの人たちのために私たちは祈ります。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7